



若手農業者が成果を発表しました！ ～ 結城地域農村青少年プロジェクト実績発表会 ～



プロジェクト発表

1月19日、平成27年度結城地域農村青少年プロジェクト実績発表会が開催されました。

プロジェクト発表では、鬼怒4Hクラブ員が「規模拡大に向けたナシ品種‘幸水’の摘心処理と一文字整枝の導入」と題して、ナシの省力栽培技術導入について、結城市農村青少年クラブ員が「トウモロコシの堆肥代替施用に挑戦」と題して、堆肥を活用した施肥設計の取組みについて発表しました。鬼怒4Hクラブ員は、結城地域の代表として、2月1日の県実績発表会で発表を行うことになりました。

また、意見発表では、常総市で研修中の若手農業者が独立までの経緯や今後の目標について発表しました。

そして、協友アグリ(株)の方には、農薬適正使用の基礎知識や残留基準値超過が産地へ与える影響、万が一残留基準値を超えた場合に産地への影響を最小限にとどめる対策等の講演をしていただきました。

発表会終了後の情報交換会では、栽培品目や栽培管理について議論する場面が見られるなど、地域農業の担い手となる若手農業者の頼もしい姿が見受けられました。



情報交換会

～ 結城地域女性農業士会総会 & 視察研修 ～

1月19日、結城地域女性農業士会は、総会および研修会を開催し、会員9名・OG4名が参加し、工場および直売所見学を行いました。

キューピー五霞工場では、卵割工程、マヨネーズ・ドレッシング工場の見学、ドレッシングの試食を行い、食品工場における衛生管理やトレーサビリティ等について説明を伺いました。

道の駅はなその農産物直売所では、野菜売り場は雪の影響のため、空いた棚が目立ちましたが、温室花きコーナーは、苗ものから観葉植物まで幅広い品揃えで、他地域の農業について学ぶ良い機会となりました。



キューピー五霞工場を見学して

おいしい白菜キムチ鍋をどうぞ！八千代町の白菜をPR



1月10日、ポケットファームどきどきつくば牛久店で八千代地区農畜産物生産流通対策協議会（八千代町、JA常総ひかり、結城普及センターで構成）が八千代町の「白菜」のPRを行いました。

PRでは、白菜キムチ鍋を約400食用意し、無料配布しました。用意したキムチ鍋はわずか1時間程で終了しました。辛さ控えめの鍋は、お客様から「おいしい」「レシピを知りたい」と好評で、同時に配布した白菜レシピ集を手取る方がたくさんいらっしゃいました。

その後、先着100名様無料抽選会が行われ、イチゴやリンゴなどの賞品が当たると歓声がおこりました。

今後も普及センターでは、生産量日本一である八千代町の白菜の販売促進を支援していきます。



白菜キムチ鍋に並ぶお客様

△▼△▼ 麦類の安定生産のために！ △▼△▼

麦類の安定生産のためには、基本技術の励行が何より大切です。収量や品質向上による所得確保のためにもぜひ励行しましょう。

・踏圧(麦踏み)

耐寒性の向上、凍上害防止、分けつ促進、無効分けつの抑制、耐倒伏性の向上などが期待できます。莖立ち期（節間伸長）前までに1～2回、土壌が乾いているときに行いましょう。

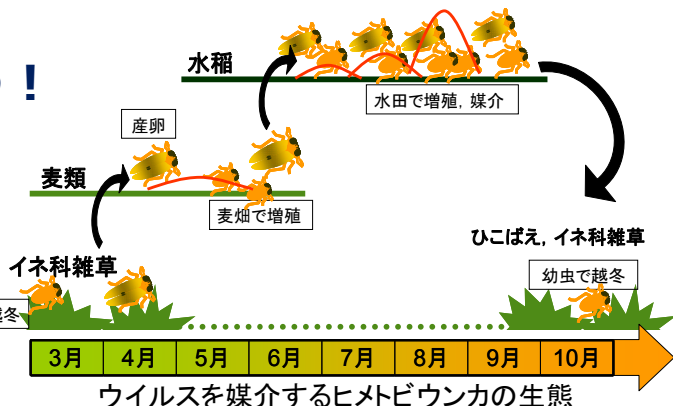
・追肥

砂壤土では2月下旬と3月中旬の2回、その他の土壌では2月下旬または3月上旬の1回、窒素成分で1～2kg/10a追肥しましょう。

イネ縞葉枯病の発生を防ぎましょう！

年々発生が拡大・重症化し、減収するにまで至っています。本病は地域ぐるみでの防除が何より大切です。

ぜひ長効きするタイプの苗箱施薬剤を施用して、いち早く終息させましょう。



イネ縞葉枯病の病徴

★★ おいしさ弾ける「いばらき苺」キャンペーン★★

ぜひご賞味ください！

茨城県では、イチゴの最盛期である1月中旬から3月上旬まで茨城のイチゴを集中的にPRするキャンペーンを開催中です。JAをはじめ、イチゴ生産者などと連携して、県内外でイベントを開催しています。県内のカフェや飲食店等では、「いばらき苺おもてなしフェア」を開催し「いばらき苺」を使ったスイーツを提供しています。おいしいイチゴを食べ比べてみませんか？

とちおとめ

甘味酸味のバランスがよく、果肉もしっかり

県オリジナル品種
いばらキッス

甘さと酸味のバランスがよく、濃厚でジューシーな食感

県オリジナル品種
ひたち姫

糖度が高く酸味が少ない